

# 花樹の会 7つの理念

## 1 「みどりづくりのボランティア（志願者）」団体です

花樹の会は、みどりづくりを自らの意志で志願し、実践活動を行うボランティア団体です。ボランティア団体を通して、出会った人々に教えられ自分も成長する……それがボランティア活動です。

## 2 「生命の尊さ」を理解することが、活動の原点です

「生命」は、動物でも植物でも同じです。植物を植え育てることを通じて生命の大切さ、病気や環境問題などを学びます。私たちの人間社会においても通ずる「いのちの尊さ」を理解することが花樹の会の原点です。

## 3 「さくら育成」が活動のテーマです

桜と日立市の結びつきは、歴史的な経過があります。桜を日立市のプラスイメージの要素と位置づけ、先人から引き継いだ桜を守り、更に植栽・育成して「多くの桜・きれいな海・緑豊かな山」を、次代の子供たちに継承します。

## 4 「実践活動」こそが基本です

私たちの活動は、論理や提案・資金提供することではなく「額に汗し、手を土に汚して、自ら実践活動をする」ことが活動の基本です。自ら積極的に実践活動しましょう。

## 5 「人・物・金」を工夫することが、事業展開のポイントです

人（数）・物（質）・金（資金）を自ら工夫して対処することが、事業の出発点です。。“会の力量・協力者・参加者資金捻出法”等工夫しながら事業を構築することこそが重要であり、「人・物・金をいかに集めるか」それが正に事業であります。

反対に、この部分を補助金等により安易に事業展開しますと、自分達の思い通りにならないことや事業そのものの詰めも甘く、会の力量も低下することに気がつきます。

## 6 「知恵」を出し合い、心技を磨き、挑戦します。

“より魅力事業”とするため、楽しみながら、興味をもって事業展開することが肝心です。「会員が相互に知恵を出し合い、心技を磨き、挑戦する」……といった日常活動が大切です。

## 7 「継続」こそが、力です

桜の名所づくりや日本一のさくら都市づくりは、一朝一夕にできるものではありません。地道に一步一步長期にわたって継続し、その活動を次の世代に引き継ぐことが重要です。

平成8年1月25日 総会において採択決定